

令和 3 年度 学校評価報告書

< 報告内容 >

1. 委員名簿
2. 令和 3 年度 学生アンケート及び授業アンケート 評価結果
3. 令和 3 年度 教職員自己点検評価アンケート結果
4. 令和 3 年度 学校関係者評価委員 評価アンケート結果

令和 3 年度 学校関係者評価委員名簿

外部委員			
選出基準	所 属	役 職	委員名
歯科衛生士有識者	小林歯科医院	歯科衛生士	山岸 利恵 様
言語聴覚士有識者	言語聴覚士	言語聴覚士	西条 一彦 様
音楽療法士有識者	ケアホーム上田	音楽療法士	堀内 操 様
商工会議所	上田商工会議所	専務理事	金子 義幸 様
地域高等学校	長野県上田東高等学校	校長	丸尾 泉 様
大学	信州大学繊維学部	教授	田中 稔久 様
地域自治会	鷹匠町自治会	自治会長	佐藤 晃一 様
学内委員			
長野医療衛生専門学校	校長	二宮 晏	
	事務長	中村 清子	
	歯科衛生士学科長	宮崎 栄理子	
	言語聴覚士学科長	富井 浩子	
	音楽療法士学科長	西沢 泉	
	総務主任	長嶋 有希	
	総務	山本 卓馬	
学校法人成田会	事務局長	藤井 彰	

令和３年度 学生アンケート及び授業アンケート 評価結果

設問		評価項目	前年度 評価	今年度 評価
学校 評価	1	本校は教育目標を明確に打ち出している	4.1	4
	2	教育課程・学習内容は卒業後の希望を実現できるものになっている	4.5	4.4
	3	学校からの諸連絡は適切に伝えられている	3.7	3.7
	4	担任との定期面談は適切に行われている	4.2	4.3
	5	基本的生活習慣が身につけられるよう、生活指導が適切に行われている	3.9	3.9
	6	希望に応じた進路（就職等）に関する指導が行われている	4	4
	7	教員は学校生活や進路の悩み等の相談に親身になって対応している	4.2	4.2
	8	施設・設備は、安全で快適な学校生活ができるように整備されている	3.3	3.6
	9	ホームページなどを通して、学生、保護者、外部の方々に必要な情報を提供している	3.9	3.9
	10	総合的に見て、学校の教育活動等に満足している	4	4.1
自己 評価	11	クラスになじみ、トラブルもなく充実した学校生活を過ごしている	4.2	4.3
	12	意欲的に授業に取り組んだ	4.2	4.2
	13	授業に遅刻・欠席をしないように努めた	4.5	4.5
	14	授業を受ける際に、きちんとマナーを守っている（携帯電話、飲食、私語、居眠り等をしない）	4.2	4.2
	15	授業時間外でも、予習・復習などを行い、授業理解に努めた	3.6	3.6
	16	実習や実技にあたり、自身の臨む姿勢や努力は十分なものであった	4.1	4.2
	17	実習や実技の際に、ふさわしい服装やマナーを守っている	4.7	4.7
授業 評価	18	授業や実習は、シラバスに沿って明確に実施されている	4.1	4
	19	授業内容の量・速度・レベルは適切である	3.9	3.9
	20	授業内容は難しいと感じた	4.2	4
	21	授業の説明・内容はわかりやすいものだった	3.9	3.9

22	授業の科目数は適切だと思う	3.6	3.6
23	教科書や配布資料、板書などはわかりやすく、効果的に利用されていた	3.9	4
24	教員は熱心に指導に取り組み、授業にも工夫がなされていた	4.2	4.2
25	教員は質問や意見に対し、丁寧で適切な対応をしていた	4.4	4.3
26	授業全体に対して充実感や満足感があった	4	4
27	実習や実技で学ぶ内容（技術等を含む）や期間等は適切であった	3.9	4
28	実習や実技の指導は十分なものであった	4.1	4.1
29	実習や実技に対して充実感や満足感があった	4	4.2

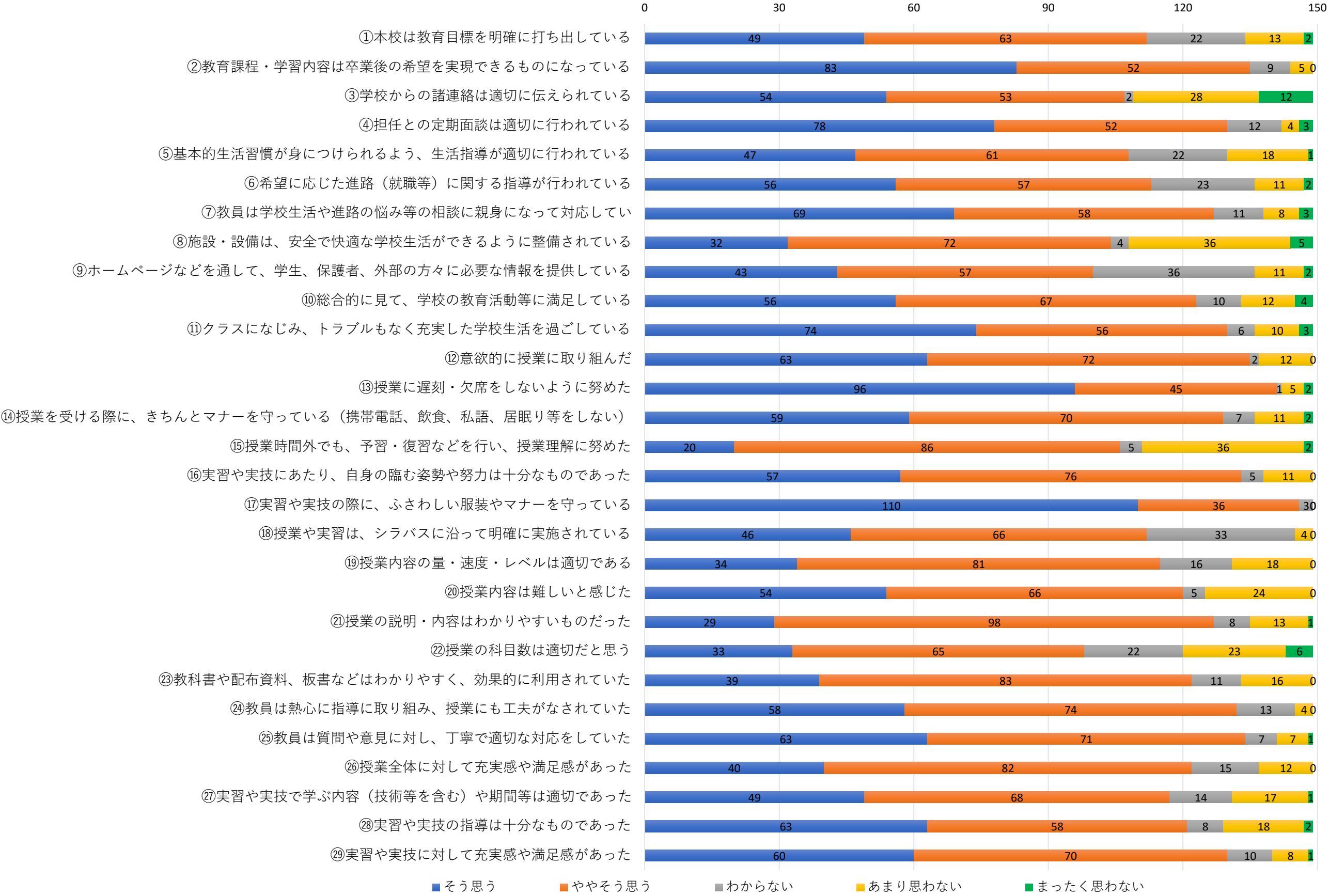
③⑩オンライン授業についての感想を記入して下さい

- ・ 時間を有効活用できた。
- ・ 外出せず感染対策になった。
- ・ いつもと変わらず授業ができた。
- ・ オンラインでも顔が見えるので安心して受講できた。
- ・ 集中して取り組めた。
- ・ スライドやパワーポイントなど見やすく分かりやすかった。
- ・ 昨年より休憩を入れるなどの配慮があり、受講しやすかった。
- ・ 新たな試みで新鮮だった。

- ・ 通信状況や機器のトラブル等でやりづらかった。
- ・ あまり集中できなかった。意欲がわからない。
- ・ 対面のほうが分かりやすい。対面のほうが質問や相談がしやすい。
- ・ グループディスカッションがやりづらかった。
- ・ 黒板が見えづらかった。
- ・ 目が疲れる。
- ・ カメラをオンにするのが嫌だった。
- ・ 基本的な使い方など事前に教えてほしい。
- ・ 時間割や日程などの連絡がほしい。

その他、上記項目における意見、要望、改善点など記入して下さい
・2号館にも自販機が欲しい。 （D H 科） （回答）設置するよう検討する。
・エアコンの調子が悪い。 （D H 科） （回答）エアコンが老朽化しており、業者に修理をしてもらっているが調子が上がらない。 当面はファンヒーターにより暖をとっていただきたい。
・今後の進路について、国家試験を突破できたら相談に乗って欲しい。 （S T 科） （回答）卒業後も就職・進学の相談に乗っている。
・コロナに関しての対応を含め、諸連絡をできるだけ早くして欲しい。 （S T 科） （回答）感染症対策については、対応方針を定め、事前に説明できるよう準備している。
・授業で先生方が使用したパワーポイント等の資料をくれる先生もたくさんいるが、中にはくれない先生もいるので統一して授業で使用了ものは欲しい。 （S T 科） （回答）外部講師の先生方を含め、資料を配布できるように検討していく。
・和声学は早い学年で履修出来た方が、実習に役立てられるのではないか。 （M T 科） （回答）学生の音楽レベルが一定以上に揃う3年次の履修が適当との判断から、日本音楽療法学会にシラバスを毎年提出し、承認を経て授業を組んでいる。

令和3年度 学生アンケート及び授業アンケート 結果



令和3年度 教職員アンケート 評価結果

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

設問	評価項目	前年度 評価	今年度 評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4.5	4.4
2	社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いているか	4.4	4

基準 2 学校運営

設問	評価項目	前年度 評価	今年度 評価
3	運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか	4.1	4.5
4	事業計画を作成し、執行しているか	4.3	4.4
5	組織運営は適切に行われているか	4	3.9
6	人事・給与に関する制度が整備されているか	3.7	4.3
7	業務の効率化を図っているか	3.8	3.7

基準 3 教育活動

設問	評価項目	前年度 評価	今年度 評価
8	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4.4	4.4
9	学科ごとのカリキュラムを明確にしているか	4.5	4.7
10	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4.5	4.5
11	教育課程について、外部の意見を反映しているか	4.3	4.5
12	キャリア教育を実施しているか	4.3	4.2
13	授業改善のための取り組みが行われているか	4.2	4.2
14	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4.5	4.5
15	資格・免許取得の指導体制はあるか	4.7	4.5

16	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4.1	4.1
17	教員の資質向上への取り組みを行っているか	3.9	4.2

基準 4 学修成果

設問	評価項目	前年度 評価	今年度 評価
18	就職率の向上が図られているか	4.6	4.6
19	資格・免許取得率の向上が図られているか	4.6	4.3
20	卒業生の社会的評価を把握しているか	3.9	3.7

基準 5 学生支援

設問	評価項目	前年度 評価	今年度 評価
21	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4.5	4.4
22	退学者の低減が図られているか	4.1	3.6
23	学生相談に関する体制を整備しているか	4.5	4.1
24	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4.7	4.1
25	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4.4	4.3
26	学生の生活環境への支援は行われているか	4	4.1
27	保護者との連携体制を構築しているか	4.4	4.1
28	卒業生への支援体制を整備しているか	4	4.3
29	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4.4	4

基準 6 教育環境

設問	評価項目	前年度 評価	今年度 評価
30	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3.7	3.6
31	学外実習・インターンシップ・海外研修等の実施体制を整備しているか	4.4	4.3
32	防災・安全管理に関する体制を整備しているか	4.3	4.5

基準 7 学生の募集と受け入れ

設問	評価項目	前年度 評価	今年度 評価
33	学生募集活動を積極的かつ効果的に行っているか	4.4	4
34	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4.3	4.5
35	学納金は妥当なものとなっているか	4.1	4.5
課題及び改善策			
33について ・施設が古く、見劣りする。仕方ないと思う。 (回答) 老朽化している施設が多数あり建替えることは不可能であるため、優先度の高いものから順次改修に取り組んでいるが多額の経費がかかるため、期間をかけて計画的に行っていく方針である。			

基準 8 財務

設問	評価項目	前年度 評価	今年度 評価
36	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3.6	3.6
37	予算は計画に従って適切に執行されているか、またそれを確認しているか	4.2	4.5
38	会計監査、財務情報公開が行われているか	3.9	4.1
課題及び改善策			
基準 8 ・2021年は会計・財務の面が大幅に改善され安心している。 更に不透明なところがあれば続けてお願いしたい。 ・不適切な会計処理対応など、基盤を整えている段階なため課題解決に真摯に取り組んでいくことが求められる。 (回答) 平成29年度以降経理に関する各種規程を整備するとともに、執行機関と出納機関の役割を明確にして牽制機能が働くシステムを整備してきた。今後もチェック体制を更に強化し、四半期ごとの会計監査を実施するなど、会計処理の適正化を進めていく。			

基準 9 法令等の遵守

設問	評価項目	前年度 評価	今年度 評価
39	法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4.1	4.3
40	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4.1	4.2
41	自己評価を実施し、その結果を公表しているか	4.5	4.3
42	学校関係者評価を実施し、その結果を公表しているか	4.6	4.5
43	教育情報について積極的に公開しているか	4.5	4.4

基準 10 社会貢献・地域貢献

設問	評価項目	前年度 評価	今年度 評価
44	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4.4	4.3
45	学生のボランティア活動を奨励・支援をしているか	4.1	4.1
課題及び改善策			

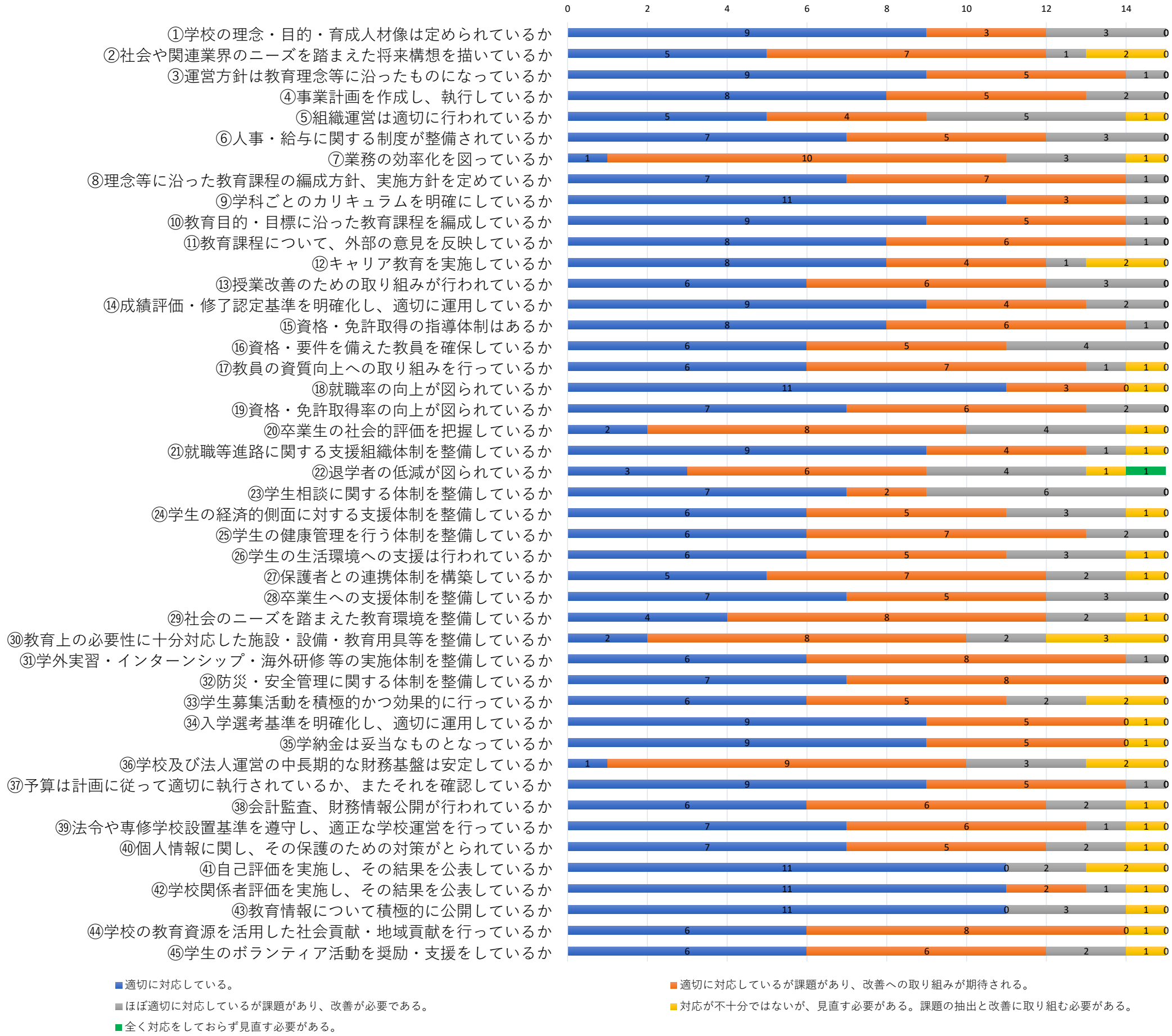
基準 10

・社会貢献、ボランティアについては活動をもっと推奨しても良いと思う。SDGsに即した動きを取っていくのが望ましいと思います。

(回答)

学生のボランティア意識の醸成及び本校が持つノウハウを地域に提供することで社会貢献を行っていくために、学生及び学校のボランティア活動を促進していくことは重要だと考える。教職員それぞれが意義を共有し、実施方法を提言するなど積極的に行動していくことが必要である。

令和3年度 教職員自己点検評価アンケート 結果



令和 3 年度

学校関係者評価委員 評価アンケート結果

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

設問	評価項目	昨年度 評価	今年度 評価	委員からのコメント	令和 4 年度 改善方策
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4.3	4.6		建学の精神に則り理念・目的・育成人材像を定めている。各業界のニーズ把握に努めていく。
2	社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いているか	4.3	4.4		

基準 2 学校運営

設問	評価項目	昨年度 評価	今年度 評価	委員からのコメント	令和 4 年度 改善方策
3	運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか	4.4	4.7	・不適切経理の再発防止に努めてください。 ・組織運営に関して、改善を適正化を継続的に実施して下さい。	建学の精神に則り教育目標、運営方針を定め学校運営に当たっている。 事業計画については、中期計画に基づき教育内容の充実及び業務の効率化を図っていく。 人事・給与制度については、新たに定めた管理体制の強化を維持し適切な運用に努めていく。 会計監査を四半期ごとに行うなど、会計処理の適正化に努めていく。
4	事業計画を作成し、執行しているか	4.3	4.6		
5	組織運営は適切に行われているか	4.3	4.1		
6	人事・給与に関する制度が整備されているか	3.7	4.1		
7	業務の効率化を図っているか	4	4.3		

基準 3 教育活動

設問	評価項目	昨年度 評価	今年度 評価	委員からのコメント	令和4年度 改善方策
8	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	4.4	4.7	・音楽療法においては、個人セッションではあるがグループ全員が関わって作り上げる授業なので、皆の気持ちが一体となった展開になっていたと思われます。	・設問12について カリキュラムの中でキャリア教育を実施している。希望により個別指導を行うなどきめ細やかな対応をしていく。 ・設問13について 授業アンケートを行い、授業改善及び質の向上に努めていく。 ・設問17について 次の制度を設けることにより教職員のキャリアアップを目指していく。 ①全職員を対象としたFD研修会の実施（年1回） ②学位取得を目的とした修学に対する支援の実施 ③研究成果等を発表できる「研究ジャーナル」の刊行 ④外部研修の計画的受講のための予算措置
9	学科ごとのカリキュラムを明確にしているか	4.6	4.9		
10	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4.5	4.9		
11	教育課程について、外部の意見を反映しているか	4.6	4.7		
12	キャリア教育を実施しているか	4.4	4.3		
13	授業改善のための取り組みが行われているか	4.4	4.4		
14	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4.6	4.7		
15	資格・免許取得の指導体制はあるか	4.7	4.9		
16	資格・要件を備えた教員を確保しているか	4.6	4.6		
17	教員の資質向上への取り組みを行っているか	4.3	4.3		

基準 4 学修成果

設問	評価項目	昨年度 評価	今年度 評価	委員からのコメント	令和4年度 改善方策
18	就職率の向上が図られているか	4.7	4.9	・社会的評価をどのように把握するかは難しいですが、継続的な取り組みをお願いします。 ・MTの必要性が社会の現場でしっかりとえられているかどうかに関わっていくと思う。	・設問20について社会的評価を把握する方法を構築する。
19	資格・免許取得率の向上が図られているか	4.7	4.7		
20	卒業生の社会的評価を把握しているか	3.9	3.7		

基準 5 学生支援

設問	評価項目	昨年度 評価	今年度 評価	委員からのコメント	令和4年度 改善方策
21	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	4.3	4.3	・高校でもコロナ禍、不安定な生徒が増加しています。進級・卒業といった単位認定に苦勞する場面もあります。家庭を含め十分寄り添える体制は難しいですが、柔軟に対応するよう心掛けています。 ・コロナ禍でより一層のきめ細かい学生支援が必要になってきます。今後も引き続き期待します。また学生への適切な連絡による支援もより一層期待します。	・設問22、23について 学生面談を年3回実施する中で、学習、生活、進路指導等、学生が抱える問題を早期に把握するシステムを構築している。スクールカウンセラーの導入及びハラスメント相談員の配置をし学生支援に対する体制を整えている。 ・コロナ対応について 対面授業を基本とし、感染状況によってオンライン授業を活用するなど、学生の学ぶ機会の確保に努めていく。
22	退学者の低減が図られているか	4	3.7		
23	学生相談に関する体制を整備しているか	4.4	4.1		
24	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	4.3	4.3		
25	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	4.3	4.4		
26	学生の生活環境への支援は行われているか	4.1	4.2		
27	保護者との連携体制を構築しているか	4.2	4.3		
28	卒業生への支援体制を整備しているか	4	4.1		
29	社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	4.1	4.1		

基準 6 教育環境

設問	評価項目	昨年度 評価	今年度 評価	委員からのコメント	令和4年度 改善方策
30	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3.6	3.6	・コロナ禍の為、計画通り進まず大変です。ご苦勞様です。 ・施設・設備の整備に関して、継続的な取り組みをお願いします。	・設問30について 老朽化が進んでいる校舎があり、施設・設備・教育備品等の整備について、必要度を勘案し優先度の高いものから積極的に整備を行っていく。
31	学外実習・インターンシップ・海外研修等の実施体制を整備しているか	4.1	4.1		・設問31について コロナ禍での臨床実習が困難な中、実施期間や時間について病院、施設等のご協力を得ながら、臨床実習の確保に努めている。海外研修については、行き先を国内に変更する等、実施する方向で検討をしていく。
32	防災・安全管理に関する体制を整備しているか	4.1	4.4		

基準 7 学生の募集と受け入れ

設問	評価項目	昨年度 評価	今年度 評価	委員からのコメント	令和4年度 改善方策
33	学生募集活動を積極的かつ効果的に行っているか	4.3	4.4	・学生募集に力を入れていただいているが、なかなか入学が増えない。新卒者だけの募集だけでなく、社会人の募集にも力を入れてもらいたい。	高校生に対する職業認知度を上げ、入学に繋がるよう努力していく。再進学の入学案内の充実を図り社会人募集に力を入れていく。 高校卒業生が減少していく状況を踏まえ、学生募集活動を積極的に行っていく。
34	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	4.3	4.6		
35	学納金は妥当なものとなっているか	4.2	4.3		

基準 8 財務

設問	評価項目	昨年度 評価	今年度 評価	委員からのコメント	令和 4 年度 改善方策
36	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3.2	3.6	・ 経常収支は黒字と赤字を繰り返していますが、5年通算では赤字となります。懸案の施設設備や大学化に向けて、更なる基盤整備が必要と思われます。 ・ 会計処理の適正化について、今後も引き続き期待します。	キャッシュベースでは毎年度黒字を計上しており、財政状況は安定している。また、令和 3 年度、4 年度と学生充足率が約 6 割となり財政運営は好転している。この状況を維持できるよう、中・長期的な学生募集計画を策定し学生の確保を図っていく。 予算については、各学科の予算要望を反映して編成し、随時執行状況を確認しながら効率的な執行に努めている。 会計監査は監事の他公認会計士による独立監査人の監査も行い、ホームページで公開している。また、令和 3 年度から 4 半期ごとに独立監査人及び監事による監査を実施しており、引き続き会計処理の適正化を図っていく。
37	予算は計画に従って適切に執行されているか、またそれを確認しているか	4	4.4		
38	会計監査、財務情報公開が行われているか	4.2	4.4		

基準 9 法令等の遵守

設問	評価項目	昨年度 評価	今年度 評価	委員からのコメント	令和 4 年度 改善方策
39	法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4.4	4.3	・ なかなか外部からは、わからない部分だと思う。	過去の不適切会計処理が明らかになったことで、今まで以上にコンプライアンス

40	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4.4	4.4	に留意して法人及び学校の適正な運営に努めている。 年1回、学生および教職員にアンケートを実施し学校関係者評価委員会において学校運営について評価をいただき見直しをしていく。評価結果および教育情報についてはホームページで公開しており継続していく。
41	自己評価を実施し、その結果を公表しているか	4.6	4.4	
42	学校関係者評価を実施し、その結果を公表しているか	4.7	4.4	
43	教育情報について積極的に公開しているか	4.7	4.4	

基準 10 社会貢献・地域貢献

設問	評価項目	昨年度 評価	今年度 評価	委員からのコメント	令和4年度 改善方策
44	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4.3	4.4	・「ことばの相談室」は学生にとっても良い教育効果を産んでいる様です。「デイサービス」は3学科共通して関われる事業ですので、検討を再開したほうが良いと思います。周辺には空店舗が散在しています。マンション建設に不満を持つ住民も少なからずいる様です。	平成30年度から、高齢者の健康増進を目的とした市民公開講座を開催し、本校が持っているノウハウを地域に提供する取り組みを行っている。 令和元年度から、小児を対象とした「ことばの相談室」を開設・運営しており、年間約200件の相談に対応して好評を得ており継続をしていく。
45	学生のボランティア活動を奨励・支援をしているか	4.3	4.4	・専門学校の知名度を上げるために、上田市役所との連携により事業をどんどん行っていただきたい。 ・社会貢献できることが本校の目的とする所なので、学生にはやりがいを感じて頑張ってもらいたいと思っています。	学生会を中心にボランティア活動を推奨しており、学生会予算からボランティア参加費等経費の一部を支援していく。 今後音楽療法のノウハウを地域に提供するため、「音楽の相談室」の設置を検討していく。